

## 【第1回進路希望調査の設問3：質問に対する回答（一部抜粋・改変）】

Q. やりたいことが決まっていない／将来の夢が決まっていない／大学で何ができるのかわからない／受験するのに必要な教科が知りたい／文理選択に迷っている。

A. 質問のなかで一番多かったのが、「将来のことが決まっていない／決められない」というものでした。やはり1年生・2年生に多かった印象です。また、文理選択に迷っている人や、大学や受験についてまだあまりよくわからないという人もいます。いまは決まっているという人のなかにも、「絶対にここに行きたい」という強い覚悟のある人は少ないのではないのでしょうか。

まず、将来への不安や恐れは思春期に抱きやすい感情であり、ある意味では青春の特権とも言えるものなので、「将来のことが決まらない」と悩むのは当然のことです。先行きが不安になるのは、逆に言えばそれだけ可能性が広がっているということでもあるのです。ただし、「決まらない」からと言って「何もしない」わけにはいきません。大切なのは、とにかく調べることです。大学への進学を希望するなら、どんな大学があるのか、大学では何ができるのか、受験して入学するにはどうすればいいのか、大学のホームページを調べたり、オープンキャンパスに行ったりして、積極的に情報を収集しましょう。

情報があふれている世の中なので、私たちは「オススメ」を求めがちです。選択肢が多すぎて、自分では選べない気がするからです。一般的に「オススメ」なのは、やりたいことが明確になったときのために、なるべく社会的評価の高い（＝入学するのが難しい）大学に進学することです。また、そのためになるべく学力を高めておくことです。やりたいことが決まっていない人ほど、一生懸命学習しておくほうがいいのです。

ただ、「オススメ」される人生なんてつまらない、とも思います。ひたすら悩んで、調べて、相談してください。「決められない」ことに悩んで足を止めるのではなく、少しでも気になったことをすべて実行する勢いで、とにかく行動してください。そうやってあがいているうちに、答えが見つかることもあります。見つからなくても、あがくしかないのです。

Q. 勉強方法が合っているのかわからない／勉強のやり方がわからない／数学・英語が苦手だがどうしたらいいか／学校の進度に合わせて学習していれば大学受験に対応できるか。

A. 特に1年生に多かったのが、勉強の方法についての悩みでした。結論から言えば、学校の学習にきちんとついていけば、どの大学の受験にも対応できます。実際のところ、学年で一番よくできる人は、塾や予備校に行っていないことも多いです。

ただし、ただ受身で授業を聞いているだけでは実力は身に付きません。予習をすべき教科はしっかり予習して「この授業で何を学ばなければならないか」を意識し、復習することで、「何ができるようになったか」を確認しましょう。授業についていけないと感じたら、迷わず教科担当や担任の先生に相談しましょう。また、いろいろな学習法を自分で試してみても、自分に合った学習法を見つけることは、人生でも最も大切な経験のうちの一つです。

Q. 推薦を取るために今のうちから準備しておくべきことはあるか／指定校推薦について／スポーツ推薦について／特色入試について／小論文入試について。

A. 推薦に関する質問も多くありました。最近では推薦入試が増えているので関心も高いのだと思います。ただ、総合型にしても学校推薦型にしても、各大学によって選抜方法が異なりますので、何より大切なのは、自分が行きたい大学の入試制度についてよく調べることです。

また、1・2年生のうちで特に大切なのは、サタデープロジェクトや講演会、研究室訪問などにできるだけ多く参加しておくことです。3年生になってからは参加する時間がありません。自分の興味・関心とぴったりに一致していなくても、とにかく機会があれば積極的に利用し、大学での学問について学んでおきましょう。推薦入試において絶対に必要な「明確で具体的な志望理由」と「大学卒業後の将来像」のためにも、多様な経験を積むことが大切です。もちろん、志望理由や面接での題材としてもこうした経験が非常に効果的です。

スケジュールに関して言えば、国公立・私立とも、3年生の夏に志望理由書を書き、夏休み明けに校内の説明会に参加し、9～1月の大学が指定した時期に出願し、受験するという流れになります。指定校等のリストは8月下旬に提示されます。気になる大学については、早期に「学生募集要項」を検索して確認しましょう。

Q. 建築学部に進学した人の感想を知りたい／建築学部は文系でも目指せるのか／建築士になるにはどうしたらいいか。

A. 建築系は人気がありますね。文系から建築を学べる学部へまったく進学できないわけではありませんが、建築士を目指すなら「物理」が必須なので、理系の学問です。自分の目的が建築士になることなのか、それとも住環境について学びたいのか、あるいはインテリアデザインなのか、造形芸術に関する事なのか、細かな区分で明確にしましょう。

京都工芸繊維大学のデザイン・建築や京都府立大学の環境デザインに進学する人が毎年いますが、どの人も大学で充実した生活を送っているようです。つい先日も、卒業生が大学で制作した模型を披露しに来てくれましたが、卒業後の3か月で、見事な住居模型を作り上げていました。

Q. 志望校や志望学科をいつまでに決めればいいのか／志望校と志望学科どちらから決めるのがいいか。

A. みなさんはもう文理選択を終えているはずですが、たとえば理系といっても「物理」と「生物」のどちらを選ぶのかによって進学できる学部が変わってきますので、1年生の夏までに大まかに志望学科を決めておく必要がありました。よく考えずに決めてしまったという人は、大至急、担任の先生か進路指導部の先生に相談してください。

大学・学部を選ぶときには、将来やりたいこと、就きたい仕事から逆算して考えるのがセオリーなので、「就きたい仕事に必要な学問内容＝学部・学科」を決めて、その学部・学科を設置している大学の中から、大学ごとの特色などを考えて選ぶのが良いでしょう。どうしても大学にこだわりがある場合は、どの入試が自分に向いているか、よく調べましょう。

このほかにも質問がありましたが、すべてをここに載せることはできません。少しでも気になることがある人は、ぜひ進路指導部へ足を運んでみてください。